

台湾に地震の見舞金を届けます

9日、杉並区役所1階ロビーでは、区と中学校親善野球大会などで交流のある台湾を支援するため、義援金箱を設置し来庁者などに募金を呼びかけています。また、本日夕方には、杉並区から台北駐日経済文化代表処（港区）に、見舞金50万円を届けることにしました。

杉並区と台湾は、平成23年に区内の中学生による異文化理解・国際交流を目的に、「中学生野球交流事業」が始まって以降、27年4月には、区を代表するイベント「東京高円寺阿波おどり」の公演を台湾で行うなど交流を深めてきました。また、台湾の食や伝統音楽などを紹介する「まるごと台湾フェア」などを開催してきました。

また、2011年の東日本大震災が発生したときは、世界のどの国よりも多くの義援金を届けてくれたのが台湾でした。そんな日本としても、また杉並区にとっても、多くの恩義がある台湾が、いま窮地に立たされています。

6日未明に、台湾南部を震源とするマグニチュード6.4を記録する地震が発生し、大きなマンションが倒壊した映像が配信されています。現地では、余震が断続的に続く中、懸命な救助活動が続いています。こうした状況の中で、不安な暮らしを強いられる方々が、一日も早く元の暮らしを取り戻せるように願いを込めて、見舞金を届けることにしました。



本日9日午前中には、交流自治体の物産品などを販売している「コミユかるショップ」では、台湾地震への義援金箱が設置されました。さらに、区からも50万円の見舞金を届けることを決定。本日16時過ぎに、台北駐日経済文化代表処（港区白金台5-20-2）に、担当課長が届けることになっています。

【報道機関 問い合わせ先】

杉並区交流協会 電話 03-5378-8833